

【開催概要】

越境シンポジウム 第1回「文化施設の連携・融合を探る」

この2年間、図書館や博物館の扉を締めた4月が繰り返されました。コロナ禍の程度によって閉館の期間が短くて済んだところも、長くかかったところもありました。中の人も関係者も大きな影響を受けましたが、なによりも多くの利用者の方が様々な影響を受けたのではないのでしょうか。文化施設のない街は、「生活」していく上でなにか大切なものが欠けてしまう。そんな感触を抱いた人も多いのではないかと思います。

ミュージアム（博物館・美術館）、アーカイブ（文書館だけでなく公的に記録を保管する施設）、ライブラリー（図書館）、そして大学、劇場やホールを含めた文化産業界の連携を図る活動としてMALUI、MLUTIという語があります。MLA連携と呼ばれたものの発展形です。私達の社会をもっと彩り豊かなものにするために、文化を共に担う機関としての連携を進めていく必要があるでしょう。その一方、それぞれの良さを生かした「複合」や「融合」という試みはまだまだ模索の中です。

過疎化が進む小さな自治体、あるいは大都市の中でも学区のような身近な単位で置かれる文化施設は、いくつもの館種を設置できないことはあきらかです。戦前から続くミュージアム、図書館、大学、劇場といった垣根を超えて、社会の中でどのような姿が求められているのか、文化施設がどのような力を持って社会に貢献していくべきなのか、それぞれの垣根を越えて議論してみたいと思います。

- 1 日時 2021年7月25日(日) 20:00~21:30
- 2 会場 ZOOM 開催
- 3 申込 以下からご登録下さい。確認メールが届きます
<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZlPfyppjgsG9DB7iFzS-00zpfZeTSYrvQd>
- 4 内容
 - ・開催趣旨 佐久間大輔（大阪市立自然史博物館）
 - ・現状報告 佐々木秀彦（東京大学非常勤講師、芸術文化団体勤務）
 - ・問題提起 福島 幸宏（慶應義塾大学）
 - ・指定討論 呉屋美奈子（沖縄国際大学非常勤講師、図書館・博物館複合施設司書）
 - ・意見交換 発表者・参加者
- 5 主催 次世代型文化施設フォーラム*

*次世代型文化施設フォーラムは、期間限定の政策提言プロジェクトです。次世代の文化施設の姿について、施設の連携、機能の融合をテーマに年数回のシンポジウムを開催して、2023年3月までに政策提言を行う予定です。

関心を持つ者が、個人の立場で発言し、「ゆるくつながり、ガリガリ議論」をモットーに活動します。

お問い合わせ：福島 幸宏 (fukusima-y@keio.jp)